

【特集】議員12人を紹介

- 正・副議長就任あいさつ
- 6月定例会 補正予算
- ここが聞きたい
一般質問8人が質問



ひろがれ!!
西和賀の輪
たかはし しゅんぺい
高橋 駿平 さん Vol.21

NO.69号の高野由菜さんから紹介があった人は、地域おこし協力隊兼料理人の高橋駿平さんです。仙台市出身の駿平さんは、東京の中華料理専門店等に勤めた後、以前から興味があった地域おこし協力隊として移住しました。関連記事20ページ(令和5年6月17日取材 「中国料理 彩り」にて)

みなさんと議会を結ぶ
西和賀町議会だより
発行日/令和5年7月18日・年4回発行
編集/岩手県・西和賀町議会広報編集委員会
印刷/輪田印刷株式会社・橋手市
発行/岩手県・西和賀町議会
〒029-5512 岩手県西和賀町川尻40-40番地
西和賀町(湯田庁舎) 0197-82-2171 FAX 0197-82-2171



「健康に気を付けて頑張してほしい」と話すテルさんと一緒に

西和賀町に移住して頑張っている人や生まれてから現在まで西和賀町で暮らす皆さんを紹介します。

ひろがれ!! 西和賀の輪
Vol.21

たかはし しゅんぺい
高橋 駿平 さん (湯本・29歳)

小さい頃から父の実家がある小繁沢を訪れ、田畑のある生活に憧れていた駿平さん。西和賀で地域おこし協力隊を募集しているのを知り、「農業がしたい」「西和賀の食材を使った料理がしたい」という想いで応募し、令和3年3月に移住しました。現在は小繁沢に住む祖母のテルさんと一緒に仕事の傍ら家庭菜園や山菜取りを楽しんでいます。

問 どんな仕事をされていますか?
令和3年7月から地域おこし協力隊として農業関係の仕事に携わっていて、主に畑作業等を行っています。
令和4年4月には湯本に「中国料理 彩り」をオープンし、西和賀の食材を使った料理を中心に提供しています。地域のみなさんと盛り上がる祭りをやりたくて「来てくだ祭」というイベントを自ら企画し実行委員長を務めました。

問 西和賀町の印象はどうですか?
知らない人でもみなさんとても親切にしてくれます。店で調理する野菜や肉など食材を提供していただいている町内のみなさんとも交流を持つことができ、友人も増え楽しんでます。

問 議会や町に望むことはありますか?
若者が集まれる場所や子どもが楽しめるイベントがあればいいなと思っていましたが、そういうイベントやお祭りを企画したい人が実行しやすい環境を作ってほしいです。
私も含めていろいろなことにチャレンジしてみたいと思っている人は町内にもたくさんいます。企画の段階で相談に乗ってもらえたり、資金面で後押ししてくれると新しいことを始める自信につながると思います。

問 最後ごうかひん
経験問わず料理が好きな人、料理に興味がある人、一緒に働いてくれる人募集中です。

「中国料理 彩り」へのお問い合わせは 電話：080-6054-7441 (営業日：日・月・火・土)

紙上クイズ

スミからスミまで

空欄に適切な言葉を入れてご応募ください。当選者には景品を差し上げます!!

問題文

1. 第2回町議会定例会の一般質問は〇人が行った。(数字1文字)
2. 交付金を活用して〇〇郵便局に証明書発行用の端末機が設置される。(漢字2文字)
3. 議員が操作方法を学んだ〇〇〇〇〇講習会(カタカナ5文字)

前号の答え

1. 中 2. 67 3. クア

【応募方法】

はがきやファックスで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、連絡先をご記入ください。また、議会だよりに掲載のため、議会に対するご要望、ご意見などあわせてご記入ください。なお、匿名での受け付けはしません。

【応募先】

〒029-5512 西和賀町川尻40-40-71
西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係
まで、ファックスの場合は0197-82-2171まで

【締め切り】8月10日消印有効とします。

【発表】

次回号で当選者(特に断りがない限り、氏名と地域)を発表します。

【No.70の当選者の発表】

吉田政志 様(川舟)・加藤達也 様(上野々)
佐藤ゆみ子 様(湯田) おめでとうございます。

暫時休憩

初めての一般質問を終えてホッとしたのもつかの間、「議会だより」の編集、なんと広報常任委員長の役割です。議場の臨場感が少しでも町民の皆さんに伝わるようにと意気込んだものの、自分の原稿で精一杯、字数も締め切りも儘ならない、写真も揃わない、事務局に迷惑かけっぱなし、かなりピンボケの委員長です。今後委員一丸となり、様々なアイデア、意見を出し合い、町民の皆さんに議会活動を広く知っていただける広報づくりに努めていきます。

広報編集常任委員会

委員長 真嶋 実

【発行責任者】

議長 高橋 雅一

委員 長 真嶋 実

副委員長 唐仁原俊博

委員 普本 歌織

委員 高橋 敏樹

委員 川田 敏

【議会だよりは広報編集常任委員会で編集しています】



知ってるようで知らない 議会de勉強!? ④5

今回は じょう にん い いん かい 常任委員会 についてじゃ

●議会の仕組みや難しい用語をできるだけやさしく説明していきます。



改選後の初議会で議会体制決まる 議員12人を紹介します

なるほど。
じゃあ、「産業建設常任委員会」は?

そうなんだあ。
「総務教民常任委員会」って、
どんなことをしているの?

常任委員会って、
どんな役割があるの?

うむ。
教育、保健、福祉、環境衛生などに
ついての調査や請願・陳情の審査など
をするんじゃ。最近では、インボイス
についての陳情を審査し、意見書を作
成したぞ。

ふむふむ。
議会が様々な問題を専門的に議論し
たり、調査したりするのが役割じゃよ。
西和賀町では、議員は必ず「総務教
民常任委員会」「産業建設常任委員会」
のどちらかに所属するようになっておる。
その他、この広報誌を編集する「広報
編集常任委員会」もあるな。

きつじゃなあ。
土木、建設、農林、商工観光、労働
などについての調査や請願・陳情の審
査を行っているぞ。
昨年度、空き家の調査をしたのも産
業建設常任委員会じゃよ。

議長就任あいさつ



議長 高橋 雅一

町の人口が5千人を割り込んだ今、町民、議会、行政が一体となった協働によるまちづくりを実現させることが急務です。町における協働のあり方は、合併の約6年後に施行された「まちづくり基本条例」において定められています。

条例制定のきっかけのひとつが危機感でした。地域づくりのために積極的に議論する姿勢が合併前と比べて薄れてきているのではないか。将来の長期的な展望を町全体で共有しきれていないのではないかと。

そう考えた町民有志が発起人となり「合併協議を行っていたころの西和賀町に立ち戻り、住民が積極的に地域づくりに参加するための環境を整えよう」と呼びかけました。地域や性別・年齢を超えた住民・議会・行政による議論は4年にわたり続きました。

できあがった条例では、町民・議会・行政の役割分担を明確化しました。そして、前文では「町民自らが自治の主役」とうたっています。町が直面する緊急課題は山積しています。町議会の議員構成も定まり、協働によるまちづくり実現のため、議会は一丸となって取り組みます。町民の皆さんには以前にも増して町政に積極的に参画いただくよう、よろしくお願いいたします。

副議長就任あいさつ



副議長 刈田 敏

議員、議会がどの様な事をしていくのかからなれないと思っている方々が多くいる中で、これまで西和賀議会は、議員研修の取り組みによる提言、住民懇談会による問題の洗い出し、その内容を住民の皆さんへ知らせる「議会だより」による広報活動など、精力的に活動してきましたが、まだまだ足りてはいないと実感しています。

今回の議会議員選挙で、議員定数の半数が新人議員となり、現職議員と協力、切磋琢磨することで更に議会力を高めたいと思います。人口減少、高齢化社会に対する問題等を分析し、議会一丸となり政策提言を進め持続できる西和賀町の将来に向け全力を尽くして行きます。そのためには、個々の意識改革、努力と学習が必要だと考えます。

議長を補佐し公正、円滑な議会運営に努めていきたいと思えます。皆様方からの議会に対する、叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。

会議規則等、西和賀町例規集は西和賀町公式ホームページでご覧いただけます
(https://en3-jg.d1-law.com/nishiwaga/d1w_reiki/reiki.html)



議員12人を紹介



最近生まれた子牛と一緒に

産業建設常任委員長・議会運営委員

きたむら つぐお

北村 嗣雄

議席 1

西 和賀町議会議員として、これまで私は地域の暮らしと仕事に立脚し町民本位の町政の実現を目指し邁進して来ました。少子・高齢化、人口減少が進展し西和賀町民の危機を深めています。持続可能な西和賀町を実現するために、私は再び希望もてるまちづくりに臨む決意です。

「町民の暮らしが第一の町政で未来を拓く」をスローガンに取り組みます。



きゅうりの収穫が始まりました

広報編集常任委員長・産業建設常任委員・議会運営委員

まじま まこと

真嶋 実新

議席 2

北 北海道で生まれ育った私が西和賀で37年を過ごし、町の皆さんに見守られ4人の子供を育てあげ、僅かながら田畑を耕し暮らしてきました。西和賀の地から湧き出る緑と温泉、風・雪の力は「ユキノチカラ」としていま花咲こうとしています。

私はさらに、この土地に暮らす人たちの温もりを、人を育てる「ゆめのちから」として、産業・文化・芸術・スポーツの再興に力を注いでいきます。



小学校で読み聞かせボランティアをしています

総務教民常任委員・広報編集常任委員

ふもと かおり

普本 歌織

議席 3

3 年前家族で西和賀にUターン、保育士として働いていました。移住者として子育て中の身として、この町は取り組み次第でもっともっと住みよくなるのではないかと考えています。

子育てサークル「わらびのり」の運営、読書ボランティア「てんとむし」の活動にも参加しています。母である前職高橋和子の意思を継ぎ、子どもからお年寄りまで、誰もが生き生きと暮らせる町に、みなさんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。

地方議会の課題を学ぶ

5月26日、岩手県自治会館において県町村議会による町村議会議員研修会が開催され、本議会からは4人の新人議員が参加しました。明治大学湯浅聖道教授から「地方議会のデジタル化の意義と課題」、関東学院大学牧瀬稔准教授からは「求められる地方議会のあり方」と題して講演いただきました。参加した議員は、ユーモアやクイズを交えての講演に、これからの活動の糧になるよう聞き入っていました。



議員研修に参加する県内の町村議会議員

議会デジタル化の第一歩

6月9日、湯田庁舎大会議室においてタブレット操作講習会を開催しました。議会のペーパーレス化に伴い、紙の資料からタブレット端末内の資料閲覧に移行するためです。タブレット端末を初めて手にする議員もおり、操作の基本から学びました。タブレット端末は6月定例議会から試験的に運用を開始しており、今年の12月定例議会からタブレット端末での資料閲覧に完全移行する予定です。



実際にタブレットを操作する様子

4年ぶりに開催

6月19日、金ヶ崎町において県南地区町議会議員会による研修会・交流会が4年ぶりに開催されました。トヨタ自動車東日本(株)岩手工場を見学した後、金ヶ崎町の永岡温泉にて、金ヶ崎、平泉、住田の各町議会議員と情報交換しながら、親睦を深めました。



工場内「結(YUI)ギャラリー」で展示車を見学する町議会議員

議会だよりにしわが

読者コーナー

皆さんの疑問に議員がお答えします。

楽しく拜見

毎回楽しく拜見しています。県道のセンターラインがなく車が反対側に入ったり真ん中を走ったりする車が多いです。一年中センターラインがなく怖い箇所が多いです。
川舟 吉田政志さん

ご愛読ありがとうございます。ご意見をいただいたご意見は議員全員で情報共有するとともに関係課へ情報提供していきます。
広報編集常任委員

くわしく記載

毎回「議会だより」を拜見しています。町内の出来事がよりくわしく記載しているのがとても良いと思います。

上野々 加藤達也さん

お褒めの言葉ありがとうございます。わかりやすく見やすい広報になるよう努めていきます。

広報編集常任委員

クイズが楽しみ

議会だよりに読むきっかけは紙上クイズです。スミからスミまで目を通して答えを導き出して毎回楽しみにしています。
湯田 佐藤ゆみ子さん

期待しています

無投票のため、メンバーがだいぶ変わりますね。期待しています。西和賀町が生まれ変わるのを楽しみにしています。ガンバレ!! ニューフェイス! おやめになつた議員さんお疲れさまでした。
泉沢 石川房子さん

ご愛読ありがとうございます。みなさんに楽しんでもらえるクイズを考えていきます。
広報編集常任委員

労いと励ましの言葉ありがとうございます。今後にも期待に応えられるよう精進していきます。
広報編集常任委員

議長交際費をお知らせします

(令和5年3月2日～令和5年6月13日までの内訳)

お祝い	4件	25,000円
会費	4件	37,000円
お悔み (花輪なども含みます)	1件	5,000円

議員12人を紹介

産業建設常任委員

なかむら ひとみ

中村 ひとみ **新**

議席 4

町 議会議員として町民の声を議会に届け、少子高齢化による負の連鎖に負けない持続可能で安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

特色ある地域資源を最大限に活用、発信し、観光事業の促進、地域の活性化を実現させます。

安が沢カタクリ群生地に向かう途中にある民家カフェ「カタカゴ・ヒルズカフェ」を営んでいます。看板犬のボーダー・コーリー（雄3歳の牧羊犬）と朝夕の散歩が日課。西和賀町の四季折々、自然を満喫しています。



看板犬「バス」とあちこちへお出かけ

総務教民常任委員会副委員長・広報編集常任委員

たかはし としき

高橋 敏樹 **新**

議席 5

湯 本で居酒屋を営んでいます。スポーツが好きです。特に野球と雪合戦が大好きです。好きなプロ野球チームは、横浜DeNAベイスターズと東北楽天ゴールデンイーグルスです。とうふや源助のあわゆきとサッポロビールの生ビールが大好きです。

好きな季節は冬と春です。ひとりひとりが明るく元気な町になるように、頑張っていきたいと思います。町でお会いしましたら、気軽に声をかけてください。よろしくお願ひします。



野球の審判員も務めています

広報編集常任委員会副委員長・産業建設常任委員

とうじんばら としひろ

唐仁原 俊博 **新**

議席 6

鹿 児島市に生まれ、京都、東京を経て、平成31年4月から3年間、町地域おこし協力隊として働きました。東京時代から現在に至るまで、雑誌などの記事を書くライターもやっています。

西和賀町誕生以来、初の30代議員です。

取り組みたいテーマは①協力隊のさらなる活用②銀河ホールで交流人口創出③乗りたくなる北上線づくり④県外からも選ばれる西和賀高校の4つ。町外の人「行ってみたい！」と目を輝かせる西和賀町と一緒に作りましょう！



町で唯一のヤギ飼いでもあります

地域おこし協力隊

問 現在活動中の協力隊員は。

ふるさと振興課長 ふるさと振興課1人、農業振興課で2人活動している。本年度から町で初めての委託型隊員として、1人を(株)西和賀産業公社で受け入れている。

問 協力隊のサポート体制は十分か。

ふるさと振興課長 人対人のことなので、どこまで充実させたとしても十分と言えない。

全国では令和3年度で約6000人の隊員が活動しているが、国は令和8年度の現役隊員数1万人を目標に掲げ、財政措置等を拡充させている。町としてもそれらを活用した受入サポートの充実を図るため、内部



農業振興課で活動する神谷知靖隊員
かみや ともやす

検討や隊員OB・OG等を含む関係者との協議・検討に取りかかりたい。

西和賀町ふるさと留学生

問 西和賀高校の県外志願者（西和賀町ふるさと留学生）募集の現状は。

学務課長 令和3年度から募集を開始し、遠方からも反応があったが、中学1・2年生の問い合わせが多く、受入実績はゼロである。

しかし、「小規模校で学びたい」「雪を体験してみたい」と西和賀の環境は、フラスに感じていただいている。昨年度中に、課題であった男子学生寮の整備が完了した。来年度入学のふるさと留学生については、高校や関係団体とも連携し、実績を残したい。

動画での情報発信

問 昨年度は町除雪隊のPR動画が

作成され、本年度は西和賀高校PRのための動画作成が予定されている。動画での情報発信が継続的にできる体制を整えるべきでは。

町長 町では公式なSNSを有していない状況。SNS活用にも、メリット・デメリットがある。運用体制や運用方法の検討・整備と並行し、優れた情報発信を行っている町内の方々の連携や協働を検討するなど、取り組みを加速したい。

質問

協力隊の受入体制拡充を

ふるさと振興課長

全国的な動きを見ながら改善



とうじんばら としひろ
唐仁原 俊博 議員

一般質問を終えて

人を呼び込むためにまずは基礎を固めていこう

質問

町は町民といかに向き合うか

町長 日々の場面でも対話の姿勢で



まじま まこと 真嶋 実 議員

一般質問を終えて

率直な答弁がいただけたが今後の検証が課題となる

を自分のこととして取り組む意識づけを図っていきたい。

委員の募集など、町民への情報発信は不十分である。今後、町民との対話をどう進めていくか。

舞台表現で生きる力を

また、支える家族や地域の皆さんには、子どもたちの成長を垣間見、喜びを感じえる場となると考える。今後も各学校との連携を図り、見通しをもって取り組んでいきたい。

町長 情報発信は、住民自治においてとても大切なことである。町政運営に関わる重要な計画はもちろん、日常的で身近な日々の生活に関わる事項も含めて、対話の姿勢で臨む努力をしてきた。しかし、指摘のとおりまだ不十分な点が多々あり、今後一層努力していきたい。

問 知と情と身体を繋ぐ表現教育は「未来を担う子どもたちに生きる力」を拓くと考える。町の教育基本計画には「4校交流事業として、音楽発表を通じて学校間交流を図る」と明記されている。次期の教育振興基本計画策定にあたって、舞台合同発表会を催し、本町の小中学生全てが銀河ホールの舞台を踏む教育の機会づくりが重要だと考えるがどうか。

まちづくり基本条例と検証委員会
問 まちづくり基本条例の制定と同時その検証委員会条例も作られている。この間の検証委員会の取組みはどうなっているのか。

企画課長 平成26年10月以降、検証委員会は開催されていない。

問 過去町議会には開催を検討する旨の答弁があったが、町長の考えを伺う。

町長 まちづくりの基本条例の精神をしっかりと理解し推進していきたい。

地域づくり組織活動への町職員参画

問 町職員は地域づくり組織の構成員として積極的に地域活動に参画する仕組み作りが必要ではないか。

町長 なぜ役場職員になろうとしたのか思い起こし、具体的な地域課題

教育長 舞台表現は「豊かな表現力の育成」に繋がり、合同での活動を通し、相互の学びを共有し同世代の理解を深め、存在を尊敬しあうことに繋がる。



今年度は湯田小学校で合唱交流会を開催

町の情報発信と町民との対話

問 町が行ったパブリックコメント、ホームページ運用、審議会等の公募

議席 7

産業建設常任委員会副委員長

たかはし よしひこ

高橋 義彦 新



この防除機が作業の相棒です

約 3町歩の水稲(WCS)経営の傍ら、普段は(株)雪国銀河農産に勤務しております。

今は大豆の播種作業のほか、7月からのソバの播種に向け、乗用防除機で除草剤を散布しています。

9人の作業員で、沢内大荒沢〜甲子までの約160町歩を作付けしていますが、まだまだ人手不足です。西和賀の農地再生の為、共に働く意欲ある方「大募集」です。

今後4年間議員活動を精力的に取り組んでいきます。

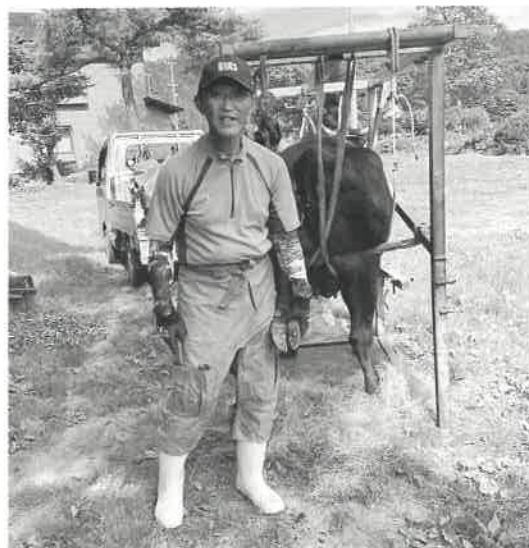
※1 WCS(稲発酵粗飼料)とは、稲の穂を茎葉ごと刈り取ってロール状に成型、フィルムで密閉して乳酸発酵させた牛の飼料のこと。

議席 8

総務教民常任委員

たかはし ひろし

高橋 宏



杵場を使用した牛のつめ切りをしています

私 は牛削蹄師を生業として地域の畜産農家のお世話となり暮らしてきました。議員となり仕事は減りましたが、今でも年2回小岩井農場で仲間とともに削蹄をしています。

議員3期目となり、まずは沢内バーデンのあり方について当局と議論し町民の望む形に少しでも近づきたいです。

無投票での当選でしたが議員の質を上げ、議会の質を上げて当局と討論することが町の活性化につながると信じていますので、それに向け努力します。

議席 9

議会運営委員長・総務教民常任委員

たかはし いたる

高橋 到



趣味と実益を兼ねて 機械の整備中

田 植えもやっと終わりソバ播きの準備中です。議会だよりが出る頃は、播種の真っ最中だと思われれます。

さて、「西和賀を元気に、湯田を元気に」をスローガンに町議選に立候補し当選させていただきました。若者たちのすさまじいパワーにむしろこちらが元気をもらった選挙戦でした。

町を取り巻く環境は厳しい話題ばかりで、少子化・高齢化・人口減少、産業の衰退等々あげればきりがありません。しかし、前を向いて突っ走るだけではなく、今一度立ち止まり、先人の経験と知恵、若者たちの知恵と行動力をお借りして、孫の世代が今以上に、安全で安心して生活できる町にしていきますように。

議員12人を紹介

議員12人を紹介

総務教民常任委員長・議会運営委員会副委員長

やなぎさわ やすお

柳沢 安雄

議席 10

コ ロナ禍が収束しつつある今、行政には、柔軟な考えと大胆な発想が求められています。一方で、景気の低迷、少子高齢化社会等、将来に不安を抱いている方が沢山いることを実感しています。山積する町政の問題解決や、住み慣れた地域で安心して住み続けることができる地域社会の実現を目指します。また、行政・議会・住民が一体となり知恵を出し合い、目指す町の姿を共有しながら協働によるまちづくりを進める努力をしていきます。趣味は日曜大工です。



焼地台公園の維持管理にも奮闘しています

産業建設常任委員・広報編集常任委員・議会運営委員

かりた さとし

刈田 敏

議席 11

私 が目標とすることは「持続可能なまちづくり」です。これまでも様々な施策等進めてきていますが、さらに結果を出して進める事が重要です。産業振興においては、町の宝はまだまだ沢山ありますが、個々に主張しているだけでは結果を得ることに限界があります。それぞれの思いや実践を連携することで躍進していくものと考えます。一人ひとりの意識改革により「笑顔あふれるまち」を目指して活動していきます。



日頃の作業前点検は欠かせません

たかはし まさかず

高橋 雅一

議席 12

6 期24年の議員活動を通して、私は町の産業振興や集落の活性化、交流人口の拡大開かれた行政の仕組みづくりや議会の活性化などに取り組んできました。これは常に町民の皆様とともに歩み、考え、町内外の多くの人たちの支援や助言に支えられてきたからこそできたことでもあります。町の人口が5千人を割り込んだ今こそ、私は町民の一員として、西和賀町が将来にわたって、希望を持てる地域となるよう全力で取り組みます。



地区の草刈り作業も日課のひとつです

町民バスの運行について

問 町民バスの運行開始から2年が経過したが、この2年間の運行についての総括を伺う。

企画課長 町民バス全体の利用者数は増加傾向にある一方で、おでかけバスに限ると減少傾向である。町では、「西和賀町地域公共交通活性化協議会」において、町内の公共交通を安定的に維持するため、地域の実情に応じた公共交通のあり方を協議しながら取組みを進めており、持続可能な公共交通体系の構築を進めている。

問 令和5年3月には時刻表の改正が行われているが、考慮した点は。

企画課長 町民バスを最も多く利用する西和賀高校の生徒の登下校に対応

し、JR北上線との接続、利用者の利便性（待機場所が狭いため待ち時間を少なくしたい思惑）とバス遅延時の接続、折り返し運行の間隔などを考慮して設定している。

問 JR北上線横手方面との乗り継ぎが非常に不便である。西和賀高校に横手方面から通学している生徒の乗り継ぎに問題はないか。

企画課長 JR北上線を利用している生徒は本年度54人（北上方面53人、横手方面1人）である。横手方面から西和賀高校へ通学している生徒については、町教育委員会事務局と西和賀高校と連携して対応している。また、下校時の対応については、年度初めに下校状況を調査し、以降毎月、高校と調整し、対応している。

問 利用者から寄せられている意見、要望等の内容は。

企画課長 運行遅延に対する苦情、運行ルート変更や運行の増便、運行車両のバリアフリー化などの意見・要望が寄せられている。一方で、バスのフリー乗降や運転手の親切な対応、忘れ物やバスマップの提供などの対応については一定の評価を得られたと認識している。

問 おでかけバスについて、便数が少ないと感じるが。

企画課長 各方面の便数については、利用状況を見ながら運行のあり方も含め検討していきたい。

地域の実情に応じて協議していく

町民バスの運行は



たかはし としき 高橋 敏樹 議員

一般質問を終えて

とても緊張しましたが、
終えてほっとしています

	町民バスの利用者数		差	一便あたりの利用人数	
	令和3年度	令和4年度		山伏線	9.2
町民バス全体	4万7,370	4万9,129	1,759	貝沢線	10.7
おでかけバス	5,746	5,038	▲708	沢内線	10.3
				湯田おでかけ	2.3
				沢内おでかけ	4.5

(参考) 企画課調べ：町民バスの利用者数

質問

妊産婦検診交通費助成は

健康福祉課長

県の改正を受け、取り組む予定

妊産婦検診時の交通費助成は実施するか

問 県で妊産婦アクセス支援事業補助金交付要綱の一部改正が行われ、妊産婦検診時の交通費助成の対象範囲が拡大された。町では取り組むのか。

健康福祉課長 県の改正を受け、交通費等の助成について取り組む予定で、現在県の補助内容や他市町村の実施状況を確認しつつ、町で実施するための助成内容や要綱を検討している。対象地域については、県内の市町村に横手市も加えて実施したいと考えている。

1・2歳児の保育料補助は実施するか

問 本年度から県で取り組むことになっている0・1・2歳児の保育料

補助について、町での取り組みは。

学務課長 県では第2子以降の3歳未満児の保育料無償化に取り組み自治体には、経費の2分の1を補助する事業を実施している。町ではこの事業を受け、1・2歳児の第2子以降の保育料無償化を行うこととしている。在宅育児への支援も、第2子以降の3歳未満児に月1万円を支給できるよう交付要綱等の整備を進めている。

移住・定住促進について

問 2019年度版移住者向けパンフレットは十分活用されたか。

ふるさと振興課長 2500部作成し、全戸配布したほか、役場の窓口において、転入者や妊産婦を対象に配布した。

現在、主に子育て関係の情報を記載したガイドブックを作成中で、十分活用できるようにしたい。

加齢性難聴者への補聴器購入助成は

問 厚生労働省が定める認知症施策推進大綱において、難聴は危険因子の一つとして挙げられている。軽度難聴者、特に加齢性難聴者への補聴器の購入助成は検討しているか。

健康福祉課長 町では障害者自立支援給付事業において、重度難聴者への補聴器の購入費用の一部を助成している。軽度・中等度難聴者への支援は今のところないが、町で実施する場合の助成内容や要綱について、検討しているところである。



ふもと かおり 議員
普本 歌織

一般質問を終えて

若い方の定住のためには子育て支援が不可欠

その他の質問

- こども家庭センター設置について
- 国保税子どもの均等割り廃止について
- 第3期子ども・子育て支援計画におけるニーズ調査について



西和賀の子どもたちが健やかに生まれ、育まれるように

令和5年度 補正予算

6月14日から16日まで第2回町議会定例会を開催しました。一般質問は14・15日に8人が行ったほか、16日には補正予算5件、条例4件、その他議案合わせて4件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

Q 体育館解体後の跡地利用は考えているか。

生涯学習課長 イベントや役場に多くの方が

が来庁する時の臨時駐車場として考えている。利便性を考えて舗装をした。

西和賀商工会に事業費補助 プレミアム商品券発行事業補助金 3850万円

Q 事業費の詳細について伺う。

観光商工課長 コロナ対応の地方創生臨時交付金を活用し、西和賀商工会が実施する商品券発行に対しプレミアム上

乗せ分と発行業務に係る経費を補助する。プレミアム率は30%、1セット1万円を1万1千セット販売。利用期間は8月1日から翌年1月31日とすることで進めたい。

プレミアム 商品券に 補助



西和賀町お買得商品券「ニシワガー券」
※写真は昨年の広告です



解体が決まった川尻体育館

郵便局で証明書発行

行政情報化推進事業 1059万円
証明書交付サービス端末 256万円

Q 町内の全郵便局に設置するの？

町民 マイナンバーの利活用に取り組む手段として、川舟郵便局に証明書発行用の端末機を設置し、住民票、印鑑証

明書が発行できるようにするための事業。当初すべての郵便局と考えたが交付金の上限があり、役場の位置を考慮し、川舟郵便局に端末を設置する。



郵便局の営業時間内に証明書を発行できるようになります

子どもたちに木に触れ合う場の提供

森のサイクル普及啓発プロジェクト事業 8万円



ツリークライミングで遊ぶ子どもたち

Q ツリークライミング体験について当初予算に計上できなかった理由と委託先について

林業振興課長 ツリークライミング体験を通して子どもたちに木に触れ合う場を提供するこ

とについて、いろいろな情報を収集した。本年度に入ってから話が進んだため今回の補正予算となった。

委託先は、岩手県ツリークライミング「やまねっこ」となる。

沢内バーデンの今後のあり方について

問 現在の状況は。

観光商工課長 日帰り入浴、部屋貸しについて、西和賀町産業公社に委託し暫定的に運営している。利用者もコロナ禍前の水準までは回復していないが増加傾向にある。修繕費については個別施設計画作成当時は2億700万円と試算されている。

問 宴会施設を再開する際の問題は。

観光商工課長 冠婚葬祭にかかる飲食の提供、送迎等のサービスは沢内バーデンを経営していた㈱エステックの自主事業として行われていた。現在施設内調理はできないので仕出し形態が有力である。現在でも利用者

が町内業者等に手配し後片付けする形態での飲食は可能となっている。今後については施設の老朽化、求められる機能や費用対効果、事業の運営主体等を踏まえて全体的に考えていく。

町長 ㈱エステックを清算した経緯から考えると同様の展開は難しい。一方でコロナ感染症拡大の影響で大人数が集まる場所が少なくなったのも事実だ。根本的なあり方については時間をいただき持続性のある方向づけをしていきたい。

西和賀地域公共交通計画について

問 JR北上線とバスの接続に問題はないか。

企画課長 最も利用が多い西和賀高校

生の登下校時の接続について、町民バスのほかスクールバスも利用し、大きな支障もなく運行している。朝の増便については、利用者の動向を調査して判断したい。

問 スクールバスを町民が利用する条件は。

学務課長 以前は児童生徒以外を乗せる混乗は認められなかったが、地域バス運行の課題などの現状を踏まえ現在は認められている。

しかし児童生徒の下校時間、行事等に合わせて融通しなければならぬ部分があるので、町民バスとの車両の相互融通については担当課と協議する。

中学校の施設改善

中学校施設管理費 582万円

Q 防犯カメラは湯田中学校のどこに設置するの？

学務課長 国の「学校施設環境改善交付金」事業を活用して、玄関に1台設置するもので、湯田中学校は職員室が2階にあり、来客の確認ができないので防犯上の観点から設置する。



防犯カメラが設置される玄関付近

その他の質問

○第3次西和賀町行政改革大綱について（国債の購入について）



施設のあり方について検討が必要な沢内バーデン

質問

宴会施設を再開するには

観光商工課長

今でも利用者が手配すれば可能



たかはしひろし 高橋 宏 議員

一般質問を終えて

町民は以前のように沢内バーデンを利用したいと望んでいる

質問 移住コーディネーターの役割は

ふるさと振興課長

移住希望者と空き家所有者の調整役



なかむら 中村 ひとみ 議員

一般質問を終えて

住民の声、視点を次回は
落ち着いて届けます

移住コーディネーター事業について

問 コーディネーターの具体的な業務内容は。

ふるさと振興課長 梶野 移住窓口などからの相談の引継ぎやSNSによる地域の魅力発信などに取り組んでいただいている。

現在はコーディネーターの提案で移住者アンケートを実施しており、今後の取り組み拡充に役立てていきたい。

観光満足度調査について

問 町内飲食店に配布された観光満足度調査アンケートに使用された画像のほとんどが錦秋湖である。町内の特色ある地域資源が活かされていないが意図は。

旧貝沢小学校跡地利用について

問 本議会で採択された「旧貝沢小学校跡地利用を推進するための請願書」の検討状況は。

ふるさと振興課長 「北部活性化推進委員会」の主體的取組みの支援を継続し、通年開所の産直施設の移転、観光案内所を含む拠点施設整備構想や交流事業の検討など協議・調整を進めていく。

まちづくりについて

問 「地域的偏り」に対する町民の声をどう考えるか。

町長 公共施設など物理的不均衡は致し方ない点があるが、道路除雪を代表する基本的行政サービスなど可能な限り均衡を図る努力をしている。合併後の与えられた環境下、住民との対話を通じた一体感の醸成が肝要である。今後は、川舟郵便局への住民票など証明書発行機器の設置を予定しており、情報機器や可能な手段を用い、均衡感のある行政運営、まちづくりに努めていく。

その他の質問

○移住コーディネーターの町ホームページ掲載について
○英語ガイドの育成と設置について

一般質問

6月定例会 8人が質問 2人が聞きたい



議会傍聴はどなたでもできます。中座もできますので、時間にしばられることもありません。ぜひ、生の議事を体験してください。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

西和賀町議会では、議員が質問できる時間は30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

質問は、議員と町長が対面し、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務づけています。

・登壇順(質問順)

公平をきすために、通告書の届出順にくじ引きをし決定しています。

町民目線で深く鋭く 多方面に議論



かりた さとし 刈田 敏 議員

・公共施設について



きたむら つくお 北村 嗣雄 議員

・町の財政健全化について



なかむら 中村 ひとみ 議員

・移住コーディネーター事業について
・観光満足度調査について
・旧貝沢小学校跡地利用について
・まちづくりについて



たかはし ひろし 高橋 宏 議員

・沢内バーデンの今後のあり方について
・西和賀地域公共交通計画について



ふもと かおり 普本 歌織 議員

・妊産婦検診時の交通費助成実施について
・1・2歳児の保育料補助実施について
・移住・定住促進について
・加齢性難聴者への補聴器購入助成について



たかはし としき 高橋 敏樹 議員

・町民バスの運行について



まじま まこと 真嶋 実 議員

・まちづくり基本条例と検証委員会
・町の情報発信と町民との対話
・地域づくり組織活動への町職員参画
・舞台表現で生きる力を



とうじんばら としひろ 唐仁原 俊博 議員

・地域おこし協力隊
・西和賀町ふるさと留学生
・動画での情報発信

事前通告書や会議録は、その都度西和賀町公式ホームページで公開しています
<https://www.town.nishiwaga.lg.jp>



【町外から西和賀町へお越しの皆様へ】
アンケートに答えるだけで宿泊券が当たるキャンペーン!!

「春の観光満足度調査(アンケート)」のお願い
西和賀町では観光地としての魅力向上を目指すため、好評だった宿泊券を対象に、満足度調査を実施しています。おくる春のころ賞に当選しますが、賞品の抽選にご参加ください。何卒ご協力をお願いします。

賞品内容	抽選時期
宿泊利用券 ～湯田温泉旅館で使える～	6月中旬
1等 2万円分(3名様)	6月下旬
2等 1万円分(5名様)	6月下旬
3等 5千円分(10名様)	6月下旬

アンケート・キャンペーンの詳細
「アンケート用紙」又は「スマートフォン」でご回答ください
＜アンケート用紙でご回答いただける方＞
アンケート用紙へご記入いただいた場合は、ご利用の施設へご提出ください。
＜スマートフォンでご回答いただける方＞
右記のQRコードをスマートフォンで読み込みアンケートにお答えください。

※当選者の発表は当該抽選日の発表をもって代表させていただきます

【実施機関・問合せ先】 西和賀町役場 観光課工務 (TEL: 0197-82-3290)

顧客満足度調査アンケートは年4回実施

移住コーディネーター事業とは
町内に移住や定住を希望する方に対し、相談や情報発信などを行う目的で、西和賀町では2人の方を委嘱して事業を促進している。

質問

施設のメンテナンスの考えは

総務課長

予防保全型の維持管理が基本



かりた ざとし 劉田 敏 議員

一般質問を終えて

維持管理費の削減は重要!!

公共施設について

問 「西和賀町個別施設計画」について現状と課題は。

総務課長 財政状況の厳しさが増している状況も踏まえ、少子高齢化等の社会構造の変化に応じた計画的な更新・統廃合・長寿命化等の検討、財政負担の軽減・平準化、公共施設の最適な配置の実現が必要となっている。

問 公共施設の日常点検の状況は。

総務課長 職員により通常の施設管理業務の中で定期的に行っている。

西和賀町個別施設計画とは
町内すべての公共施設の現状を把握し、今後の対策について取りまとめた「西和賀町公共施設等総合計画」に基づき、施設ごとの維持保全の方向性について劣化診断、評価等を行い、施設の長寿命化のために策定した計画のこと。

問 メンテナンスの有無により、今後の維持費に差が生じると考えるが、考え方は。

総務課長 予防保全型の維持管理を基本に、保守点検をしっかりと行うこと



開発総合センター跡地は駐車場として利用



屋根塗装が必要な U ホール

で修繕箇所の早期発見や機能の維持、安全性が図られ、健全な状態の維持や修繕費用の縮減にもつながると考えている。

町の財政健全化について

問 中期財政計画が令和2年度に策定されたが、これまでの進捗状況は。

企画課長 毎年度の決算の状況や国の地方財政計画、社会経済情勢等を踏まえ、令和3年度と4年度に見直しを行った。収支改善策を講じながら引き続き財政の健全化に努めていく。

問 財源の確保に未収金の収納対策とあるが現状と取り組みは。

会計管理者 令和3年度の収入未済額のうち町税が3874万8790円で全体の83.3%を占める。

問 第三セクターの経営改善について現状と課題は。

企画課長 コロナ禍と国道107号の長期通行止めの影響により大きな打撃を受けた西和賀産業公社と、根本的な経営体質の改革が求められている山の幸王国の2社については極めて厳しい経営状況にあるものと認識している。

問 第三セクターへの町の財政的な対応は。

企画課長 独立した経営体である以上は、その経営は自助努力で行われるべきで、町の財政的な関与は必要最小限にとどめることが基本原則である。



コロナが収束しつつあり、客足が戻ってきた湯夢プラザ

問 中期財政計画の到達目標は達成可能か。

企画課長 毎年度の見直し作業と収支改善策が一般見直しを行った行政改革大綱で掲げている計画の着実な遂行を担保とするものと認識しており、達成可能と考える。

問 財源の確保に資金運用とあるが、運用方法は。

会計管理者 比較的低リスクの低い日本国債の購入を運用手段の一つとして検討を行っている。

企画課長

達成可能と考える

質問

中期財政計画達成可能か



きたむら つくお 北村 嗣雄 議員

一般質問を終えて

持続可能な財政運営の実現にさらなる収(歳入)支(歳出)改善策望む